

2021年4月1日

アクセンチュアと合弁会社「SUMIKA DX ACCENT」を設立 ～デジタル革新のさらなる加速に向けて IT 体制を強化～

住友化学は、デジタル革新の推進とそのための人材育成を目的として、アクセンチュア株式会社（以下、「アクセンチュア」）と合弁で SUMIKA DX ACCENT 株式会社（以下、「SUMIKA DX ACCENT」）を設立し、2021年4月1日より業務を開始いたしました。

住友化学は、19～21年度中期経営計画の基本方針の一つに「デジタル革新による生産性の飛躍的向上」を掲げています。研究開発、製造、サプライチェーン、営業・間接業務の各領域で取り組みを進めており、次のステップとしてデジタル革新を通じた既存事業の競争力強化、最終的には新たなビジネスモデルの創出につなげていく考えです。これらの取り組みにおいて、ビジネス部門の要件どおりに IT 部門がシステムを開発するという一方向の流れではなく、両部門が共に、いかにデータを利活用し、最先端のデジタル技術をビジネスに適用するかを考え、それに合致したソリューションを考案することが求められます。

それらの役割を果たすため、住友化学は、既に公表のとおり 21年7月1日付で、当社グループで主に IT システムの導入についてプロジェクトの推進・開発・運用保守を担う住友化学システムサービス株式会社の吸収合併を決定しました。同社が有する IT に関する知見とビジネスとの融合を促進し、デジタル革新を支える体制を強化します。また、さらなる強化策として、このたび、デジタル領域で多くの企業を支援してきたアクセンチュアと SUMIKA DX ACCENT を設立しました。アクセンチュアが保有する先進的な人工知能（AI）やアナリティクス、オートメーションなど多岐にわたるノウハウや専門人材を活用し、サプライチェーンや営業・間接業務において、最新デジタル技術の評価や業務適用可能性の実証実験、デジタル人材の育成を進め、IT 部門とビジネス部門を連携させることで、デジタル革新を一層加速させる考えです。

住友化学は、引き続き、デジタル革新による生産性の飛躍的向上や既存事業の競争力強化、新たなビジネスモデルの創出に注力し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

<SUMIKA DX ACCENT の概要>

会社名	SUMIKA DX ACCENT 株式会社 (スミカ ディーエックス アクセント)
所在地	東京都中央区新川 2-27-1
設立	2021 年 3 月
社長	土佐 泰夫
出資比率	住友化学 80%、アクセンチュア 20%
事業内容	住友化学グループのサプライチェーンおよび営業・間接業務におけるデジタル化の PoC (概念実証) とデジタル人材の育成

以上